

地域と学校の協働通信

…開かれた学校づくり…

令和7年10月 | VOL.26

発行：武藏野市教育指導課



01

第1回会長会では、各校の協議内容の紹介やその中で見えてきた課題への意見交換、また、中学校区ごとのグループとなり、協力して取り組んでいくことへの意見を出し合いました。会長同士、協働できる視点や他校の様子も把握できることと思われます。地域で育まれる子どもたちの未来への「開かれた学校づくり協議会」の進展が期待されています。

令和7年度 各校 開かれた学校づくり協議会 会長

第一小学校	平田由美子さん
第二小学校	田中 雅文さん
第三小学校	齋藤 理恵さん
第四小学校	青木 一郎さん
第五小学校	藤井 陽子さん
大野田小学校	合原 聰美さん
境南小学校	見木 久夫さん
本宿小学校	高木須磨子さん
千川小学校	北島 博史さん

井之頭小学校	慶徳 大介さん
関前南小学校	島田 豊文さん
桜野小学校	小宮 敬子さん
第一中学校	本郷 伸一さん
第二中学校	後藤 真澄さん
第三中学校	足立 恵子さん
第四中学校	田中 秀明さん
第五中学校	藤平 真史さん
第六中学校	澤木 宗人さん

トピック 01

開かれた学校づくり協議会 第1回会長会 開催（7月29日）

トピック 02

地域コーディネーター連絡会 開催（8月22日）

トピック 03

学校運営協議会機能を有する「開かれた学校づくり協議会」の各校の様子

02

「第2回 地域コーディネーター連絡会」

8月22日に「武蔵野市民科カリキュラム推進委員会」（全校から担当教員が参加）と合同開催しました。

「武蔵野市民科」は、その学習の特性上、地域や社会とのつながりを密にした指導計画が作成され、体験的な活動を充実させる取組が実施されています。

地域コーディネーターの支援によって、子どもたちの思いや考えを生かしながら探究的な学習が深まっています。

例として、「市民科の学習成果を文化祭や市の企画として発信する」などの意見が出していました。

…担当教員との太いパイプが育まれています…



令和7年度より、新たに「学校運営協議会」機能を付加した「開かれた学校づくり協議会」が全校で始まりました。これまで各校では、モデル校の取組を参考に、多様な委員（学識経験者、学生、地域商店会関係者など）の人選を行い、徐々に委員主体の協議会へと移行しています。協議会での熟議を通して、今後、一層の協働体制と多様な教育活動が育まれ、その地で育つ子どもの未来を開き、豊かな地域を育んでいきます。

2学期に入り、多くの開かれた学校づくり協議会では子どもたちの様子や地域を取り巻く状況を共有し、お互いを知る時間を作っていました。協議会としての主体性も発揮され、自ら考える、アイデアを出す、実現に向けて動き出すといったアクションが見え始めました。

03

学校運営協議会機能を有する 「開かれた学校づくり協議会」の 各校の様子

01 第一小

「地域とのつながり」をテーマに、学校を地域のみんなが集える場所にするためのアイディアや、地域の方が講師となる教育活動について検討した。

02 第三小

それぞれの委員が持つ知見から、地域に元からある良い取組や行事予定を共有。地域の良さを再確認し、教育的な価値づけが進む。



03 桜野小

地域のいいところ、知識や課題意識などを共有するために委員も忌憚なく意見出しを行う。桜野地区の温かさをいつまでもつなげていくための協議を継続する。

04 第三中

生徒会の生徒との交流を実施。学校生活の今を知るとともに、くぬぎ祭、四部混声の校歌や私服登校など三中らしい話題についても意見交流をした。